

2018年9月7日



—【面倒見が良い大学】で9年連続首都圏1位に！— 全国進学校の進路指導教諭から高い評価を獲得

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、大学通信の調査による大学ランキング*において、多数の項目にランクインしました。本学は、日本初の七年制高等学校である旧制武蔵高等学校を前身とし、創設時からゼミ（ゼミナール）を中心とした「自ら調べ自ら考える」力を養う徹底した少人数教育を行っています。この他、学生全員と面談するキャリア支援、一対一でのコーチング指導に力を入れるグローバル教育など、今回のランクインは小規模の強みを活かした取り組みが評価された結果と言えます。

■ 大学ランキング

【小規模だが評価できる大学】 **全国2位**（全国私大1位／首都圏1位）

【面倒見が良い大学】 **全国3位**（全国私大2位／首都圏1位） ※9年連続首都圏1位

【入学後、生徒を伸ばしてくれる大学】 **全国13位**（全国私大8位／首都圏8位）

【教育力が高い大学】 **全国18位**（全国私大7位／首都圏9位）

【就職に力を入れている大学】 **全国28位**（全国私大23位／首都圏15位）

【偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学】
全国私大20位（首都圏私大11位）

*『サンデー毎日』2018.9.16号「全国824進学校アンケート 進路指導教諭が徹底比較！『オススメ大学』ランキング」（大学通信調べ）

■ 本学の「ゼミ」の特長－ゼミの武蔵－

◆1年次から4年間、全員が履修◆

「ゼミ」を通じて、学生同士で議論を深めるとともに、チームで協力してレポートを作成・発表したりする経験を4年間繰り返すことで、論理的な思考力やプレゼン力、リーダーシップなど社会で必要とされる力が身につきます。また、1年次より指導教員がつくため、教員と学生の距離が非常に近いのも特長です。

◆打ち込める環境◆

学部ごとにゼミ活動の専用ルームや研究費用の支援があり、大学全体でゼミに打ち込める環境があります。

◆社会を学べる◆

開講されているゼミの数は毎年400を超えます。企業から提供された課題の解決、国内外でのフィールドワーク、他大学との合同ゼミなど、学外での活動を通じて社会を学べる場があります。

◆発表の場がある◆

全学部に、ゼミの垣根を越えて研究成果を発表する機会があります。発表は一般にも公開されるので、聴衆にわかりやすく伝える力が試されます。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナルが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1